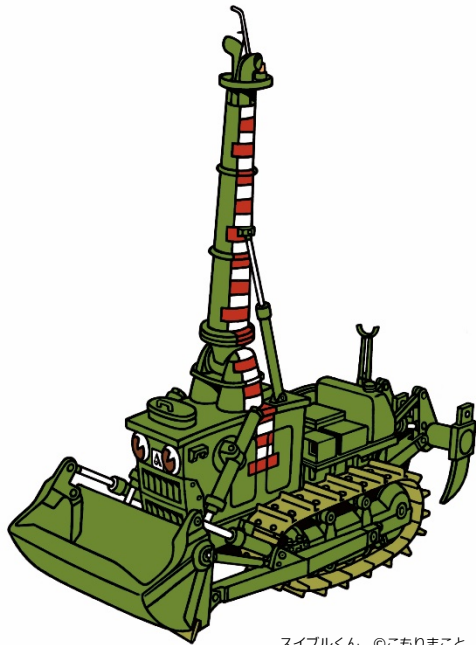


2020年3月期決算説明会資料



青木あすなる建設株式会社
2020年5月27日

目次

□ 2020年3月期決算（連結）説明 ③～⑭

□ 2020年3月期決算（個別）説明 ⑮～⑳

□ 2021年3月期年度経営計画 説明 ㉓～㉔

2020年3月期決算（連結） 説明

企業集団の状況

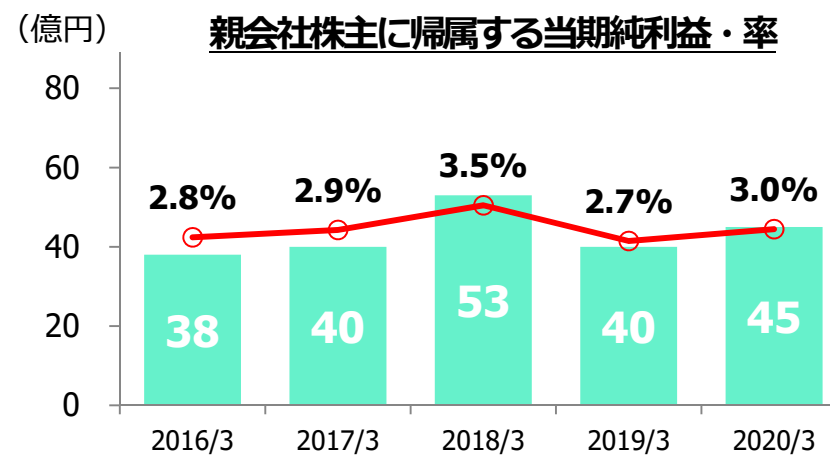
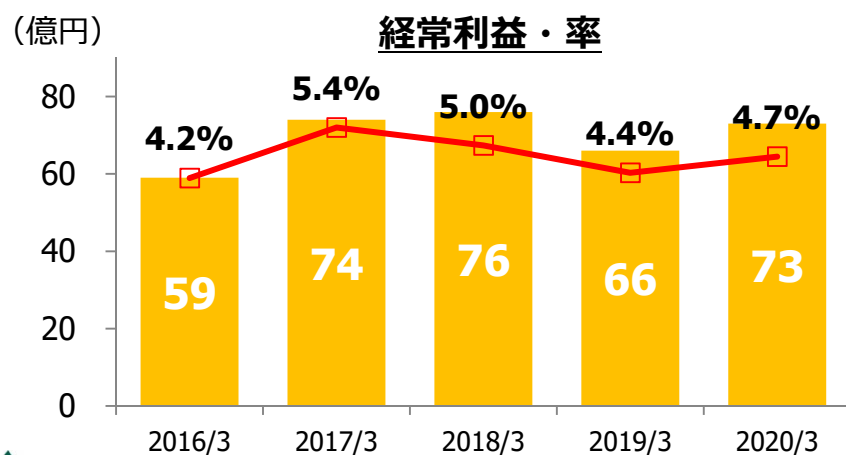
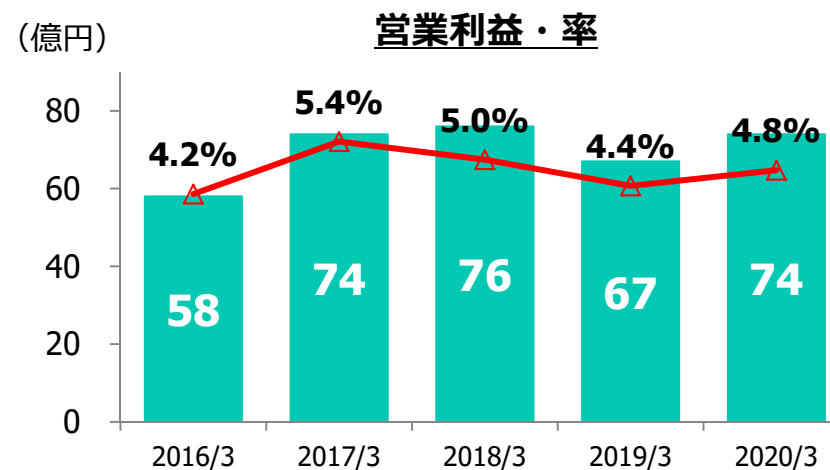
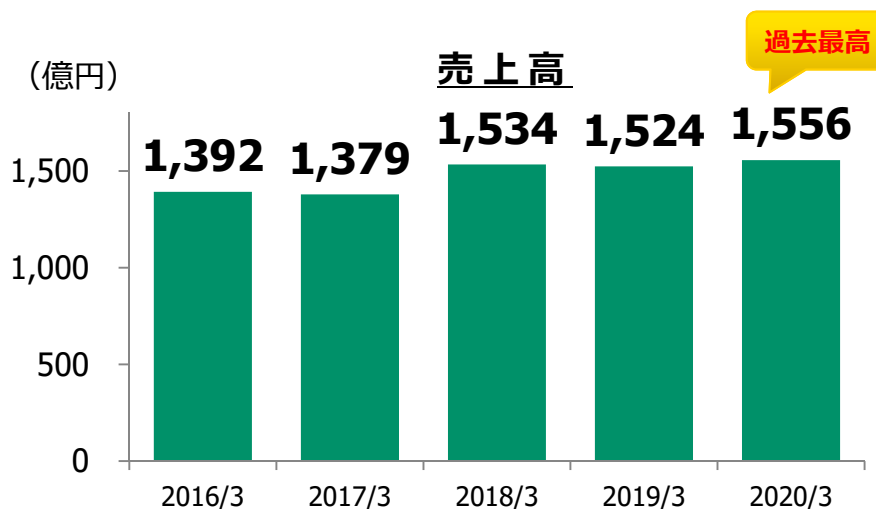
- 当社グループは、当社およびグループ会社8社により構成され、建設事業および不動産事業を主な事業内容とし、これらに関連する事業をおこなっている。

	建 築	土 木	不 動 産	主要営業エリア
当 社	青木あすなる建設(株)			国内(全国)
グループ 会 社	みらい建設工業(株)			国内(全国)
	東興ジオテック(株)			国内(全国)
	青木マリーン(株)			国内(全国)
	あすなる道路(株)			北海道
	(株) エ ム ズ			首都圏
	新潟みらい建設(株)			新潟県
	(株) 島 田 組			国内(全国)
	(株) ア ク セ ス			関西圏

業績サマリー (連結)

(億円未満切捨)

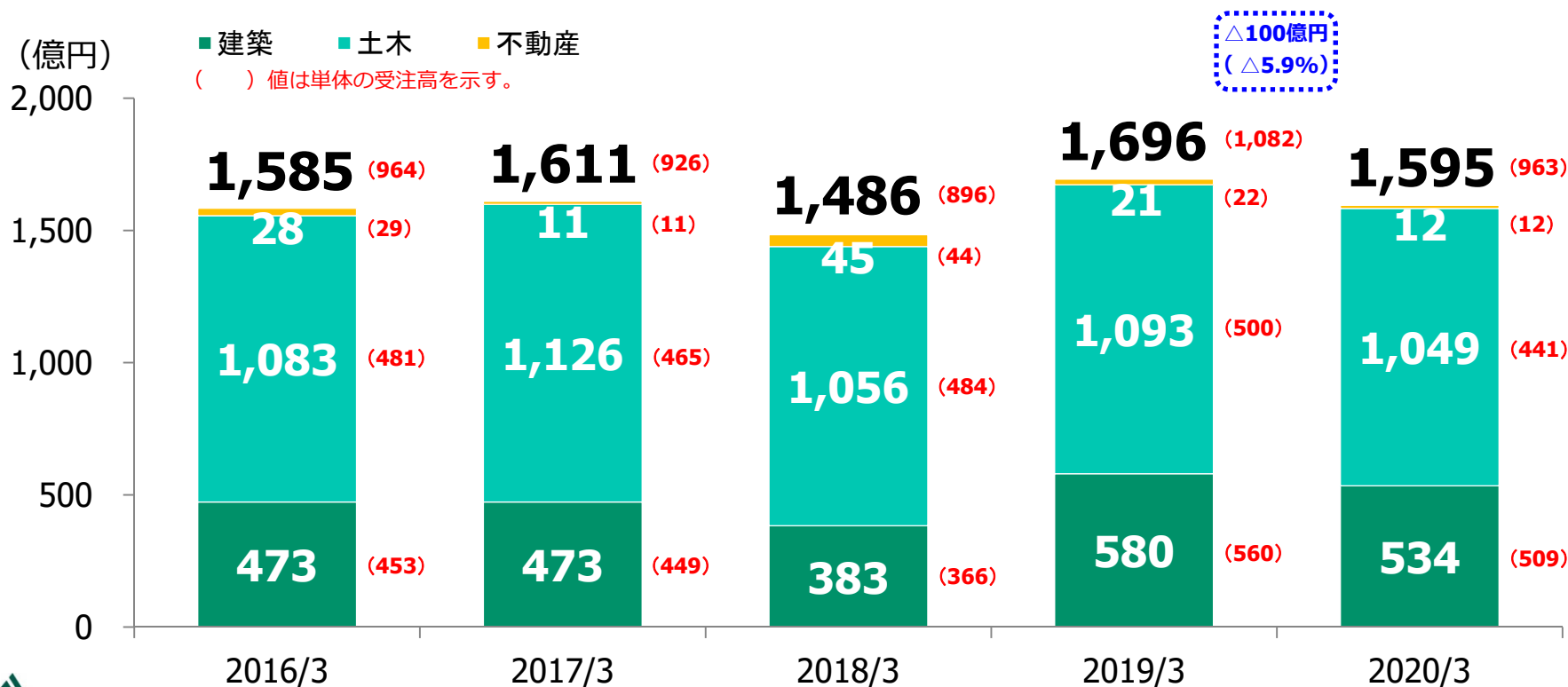
- 売上高は前期比増収、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前期比増益。売上高は過去最高を更新。



受注高（連結）

（億円未満切捨）

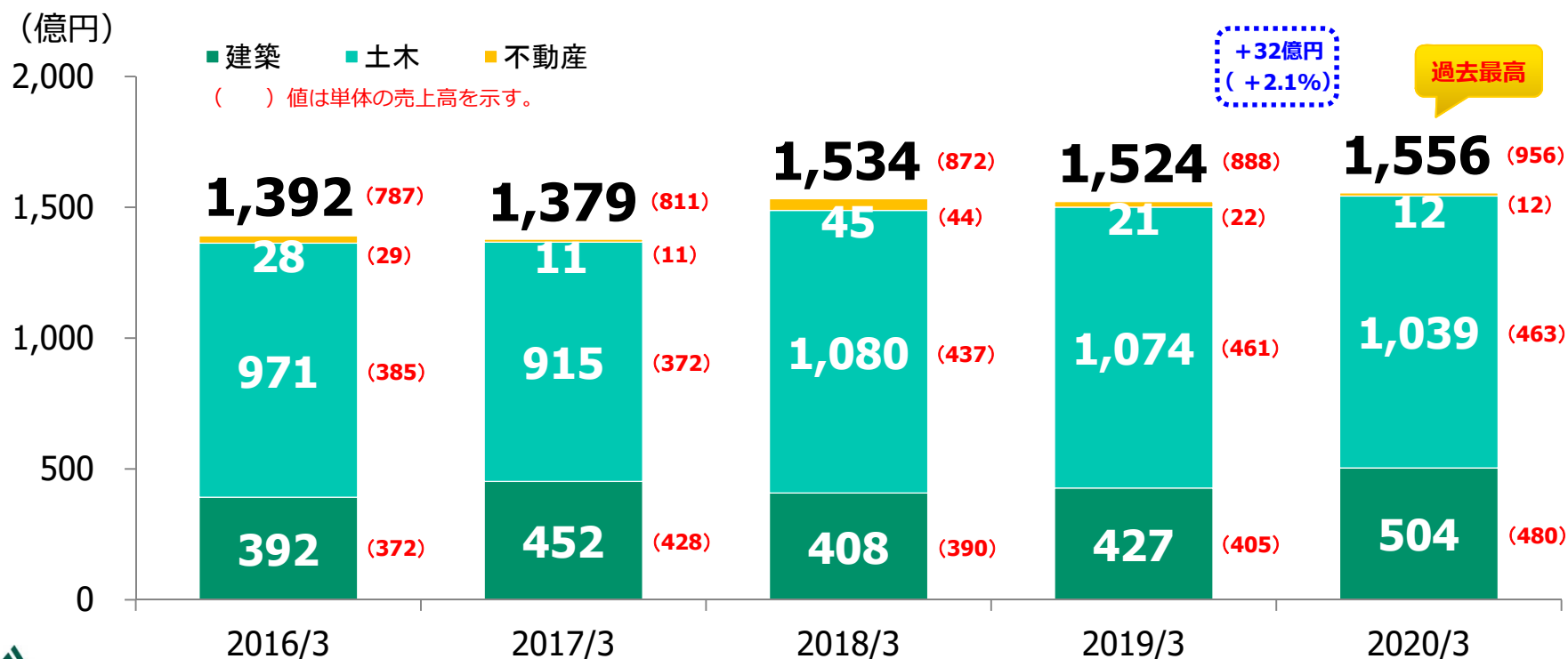
- 建築は官庁が大型ごみ処理施設等を受注し**増加**も、民間が前期に消費増税前の駆け込み需要があった反動で**減少**し、全体では前期比**46億円（△8.1%）の減少**。
- 土木は民間がメガソーラーなどの再生可能エネルギー分野や大型ごみ処理施設の造成工事を受注し**増加**も、前期に鉄道・道路などの受注が好調であった官庁が**減少**し、全体ではグループ会社の受注増があったものの、前期比**43億円（△4.0%）の減少**。
- 全体では過去最高を更新した前期から**100億円（△5.9%）の減少**。



売上高（連結）

（億円未満切捨）

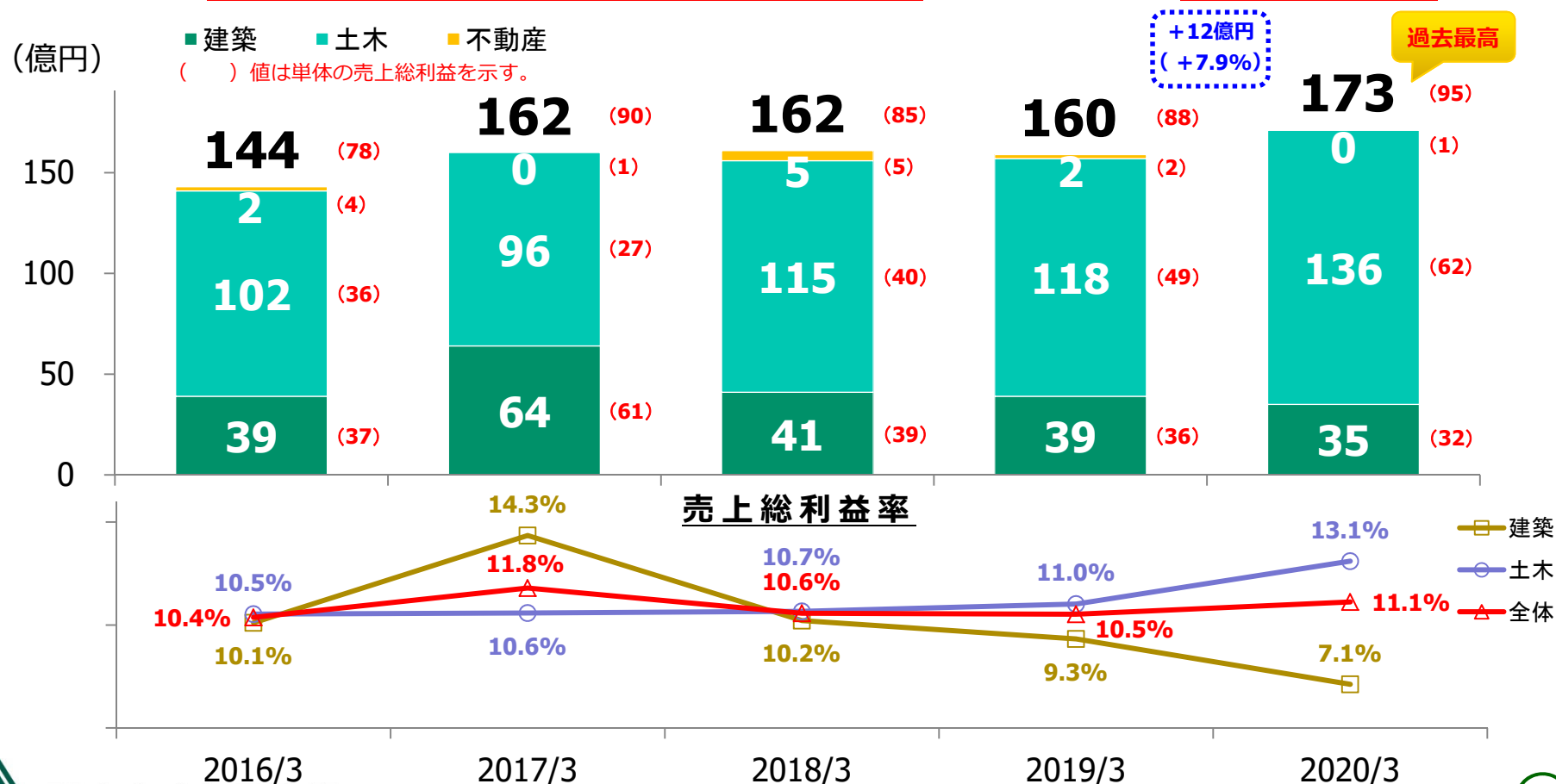
- 建築はリーマンショック以降で過去最高規模となった期首繰越工事が順調に進捗したこと等により、前期比**76億円（+18.0%）の増収**。
- 土木は当社の手持工事が順調に進捗したが、一部のグループ会社の期首繰越工事減（前期・前々期の受注減）等により、前期比**34億円（△3.2%）の減収**。
- 全体では前期比**32億円（+2.1%）の増収**となり、**過去最高を更新**。



売上総利益（連結）

(億円未満切捨)

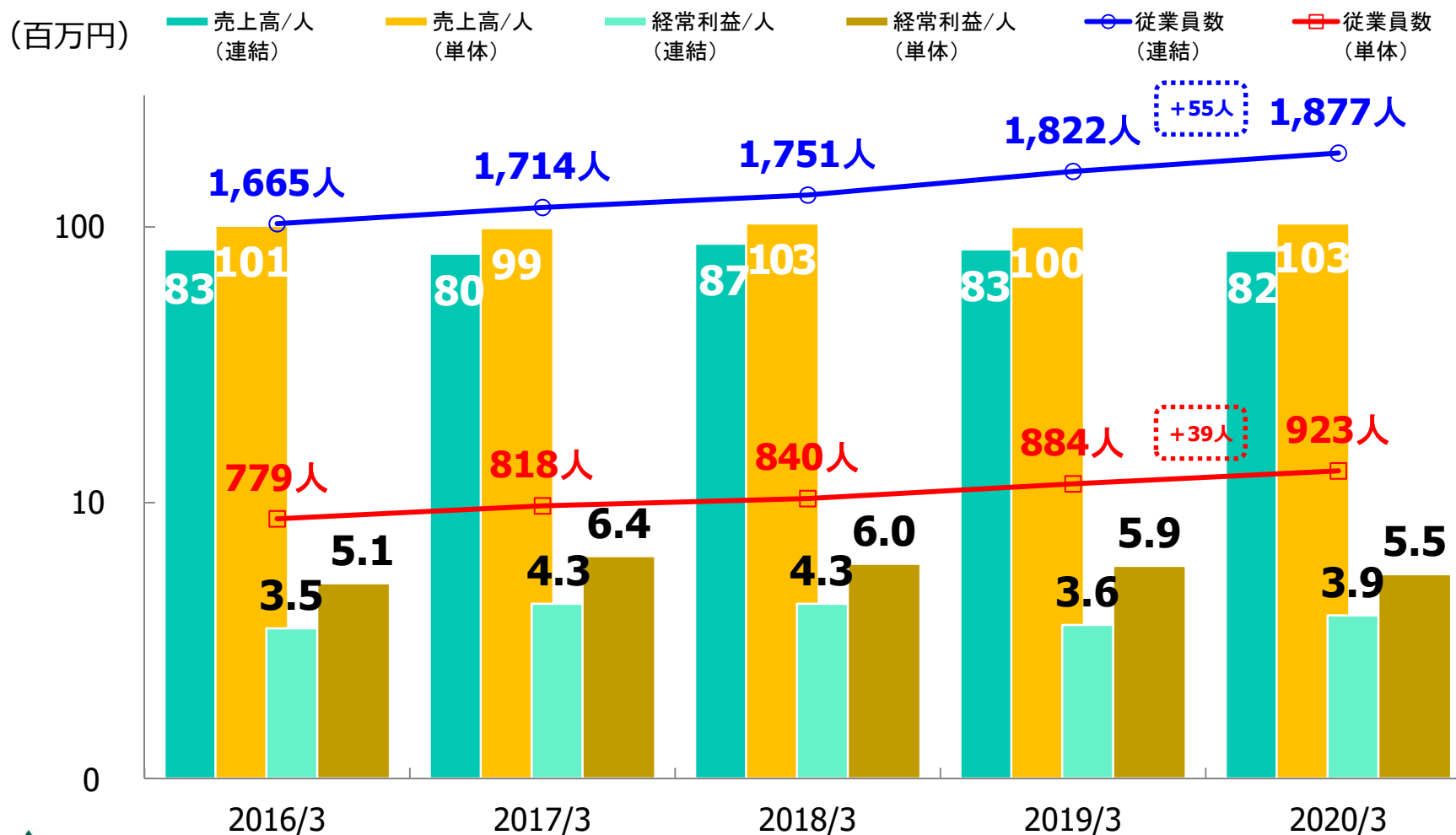
- 建築は資材価格の上昇や労務不足等の影響を受けた低採算工事の進捗等により、前期比3億円（△9.9%、利益率△2.2㊦）の減益。
- 土木は当社の好採算工事の進捗等により、前期比17億円（+15.1%、利益率+2.1㊦）の増益。
- 全体では前期比12億円（+7.9%、利益率+0.6㊦）の増益となり、過去最高を更新。



従業員数および生産性

(売上高/人：百万円未満切捨)
(経常利益/人：十万円未満切捨)

- 期末従業員数は継続的な新卒採用等により**増加傾向**、単体の一人当たりの経常利益は人員増による一般管理費の増加を吸収しきれず前期比**減少**。



貸借対照表 (連結)

(億円未満切捨)

(単位：億円)

	2019/3	2020/3	増減額
流動資産	(964)	(1,033)	(69)
現金預金	241	262	21
受取手形・完成工事未収入金等	625	663	37
販売用不動産	18	9	△9
未成工事支出金	4	0	△3
不動産事業支出金	—	0	0
未収入金	64	71	6
その他	9	25	16
貸倒引当金	△1	△0	0
固定資産	(138)	(135)	(△3)
有形固定資産	(63)	(63)	(△0)
無形固定資産	(3)	(3)	(△0)
投資その他の資産	(71)	(68)	(△2)
投資有価証券	41	37	△4
繰延税金資産	22	24	2
その他	9	8	△1
貸倒引当金	△2	△2	0
資産合計	1,102	1,168	66

	2019/3	2020/3	増減額
流動負債	(341)	(379)	(37)
工事未払金	208	233	24
未成工事受入金	68	70	2
賞与引当金	15	16	0
その他	48	58	9
固定負債	(86)	(86)	(△0)
退職給付に係る負債	80	79	△0
その他	6	6	△0
負債合計	428	465	37
株主資本	(669)	(702)	(32)
資本金	50	50	—
資本剰余金	237	237	—
利益剰余金	415	448	32
自己株式	△34	△34	△0
その他の包括利益累計額	(4)	(0)	(△3)
非支配株主持分	(0)	(0)	(0)
純資産合計	674	703	29
(自己資本比率)	(61.1%)	(60.1%)	(△1.0%)
負債・純資産合計	1,102	1,168	66

グループ会社別の業績（1）

（億円未満切捨）



青木あすなる建設

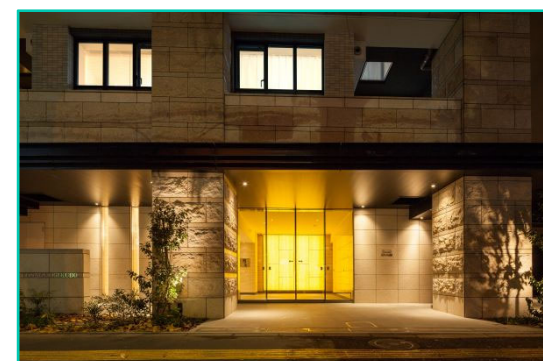
主要事業：総合建設業



（仮称）介護老人保健施設久米川新築工事



東北自動車道蓮田サービスエリア（新上り線）工事



ティサージュ荻窪（自社分譲マンション）

（単位：億円）

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	964	926	896	1,082	963	△11.0%
売上高	787	811	872	888	956	7.6%
営業利益	30	41	40	36	39	8.3%
経常利益	40	52	50	52	51	△1.7%
当期純利益	30	34	34	38	34	△10.1%
期末従業員数	779人	818人	840人	884人	923人	



青木あすなる建設

グループ会社別の業績（2）

（億円未満切捨）

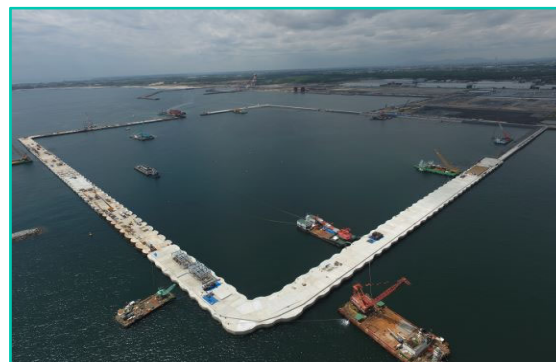


みらい建設工業

主要事業：海上工事、港湾工事、陸上土木工事、建築工事



函館港若松地区岸壁改良工事



茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区
廃棄物埋立護岸築造工事



神戸港航路付帯施設地盤改良工事

（単位：億円）

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	306	371	272	291	297	2.2%
売上高	297	263	336	313	284	△9.3%
営業利益	10	11	12	6	8	26.8%
経常利益	10	11	12	6	8	29.1%
当期純利益	12	8	15	4	5	33.3%
期末従業員数	289人	306人	310人	324人	331人	

グループ会社別の業績（3）

（億円未満切捨）

東興ジオテック

主要事業：法面保護工事、地盤改良工事、爆砕工事、保温・耐火工事



香川高速道路のり面補修工事
（法面保護工事）



羽田空港跡地基盤整備工事
（地盤改良工事）



小石原川ダム工事
（爆砕工事）













防府バイオマス発電所工事
（保温・耐火工事）

（単位：億円）

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	218	218	226	223	236	5.6%
売上高	214	208	222	221	220	△0.5%
営業利益	13	13	15	17	16	△4.0%
経常利益	13	12	15	17	16	△3.4%
当期純利益	6	8	9	14	10	△25.6%
期末従業員数	386人	392人	396人	390人	395人	

その他のグループ会社について

(億円未満切捨)

会社名	本社所在地	主要事業	2020/3 売上高	従業員数 (2020/3末)	
 島田組 アクセス	大阪府 八尾市	埋蔵文化財発 掘調査、土木 工事	39億円	113人	
 エムズ	東京都 中央区	建築リノベー ション工事	23億円	30人	
 青木マリーン	神戸市 東灘区	埋立・浚渫工 事、海上輸送	22億円	49人	
 あすなる道路	札幌市 中央区	道路・舗装・ 土木工事、合 材販売	18億円	27人	
 新潟みらい建設	新潟県 南魚沼郡 湯沢町	道路・舗装・ 土木工事、合 材販売	8億円	9人	

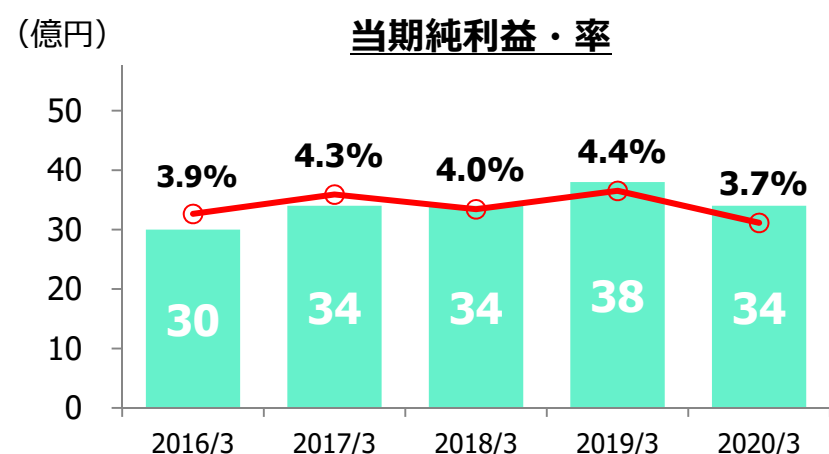
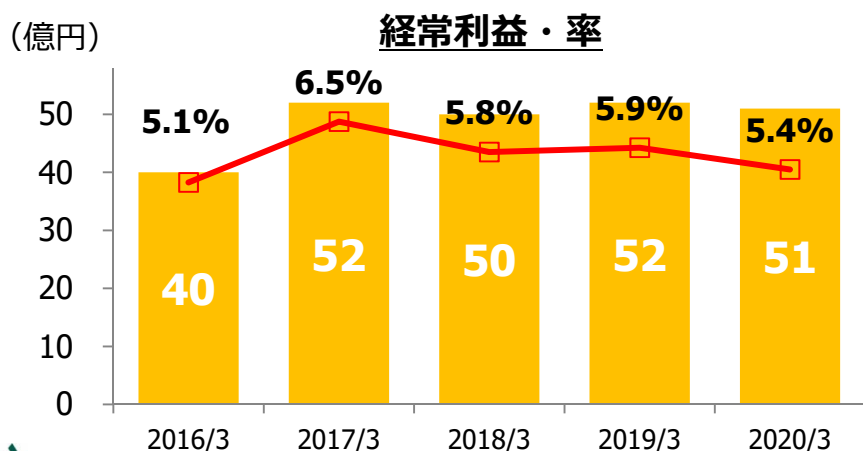
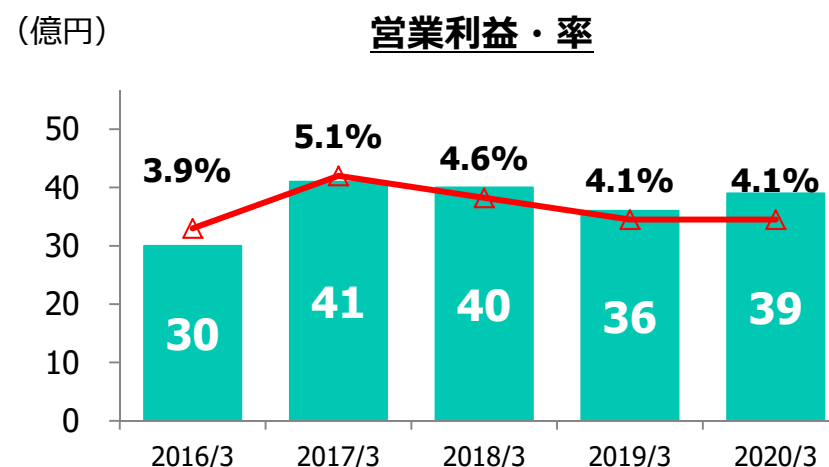
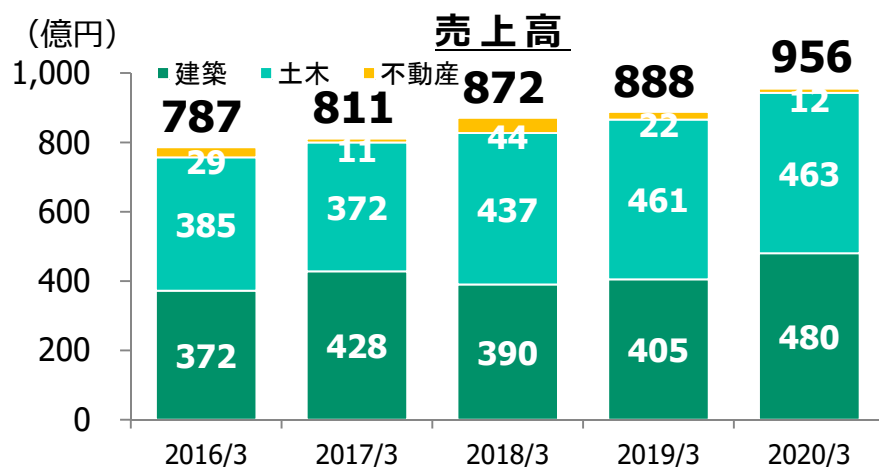
2020年3月期の売上高が大きい順に記載。

2020年3月期決算（個別） 説明

業績サマリー（個別）

（億円未満切捨）

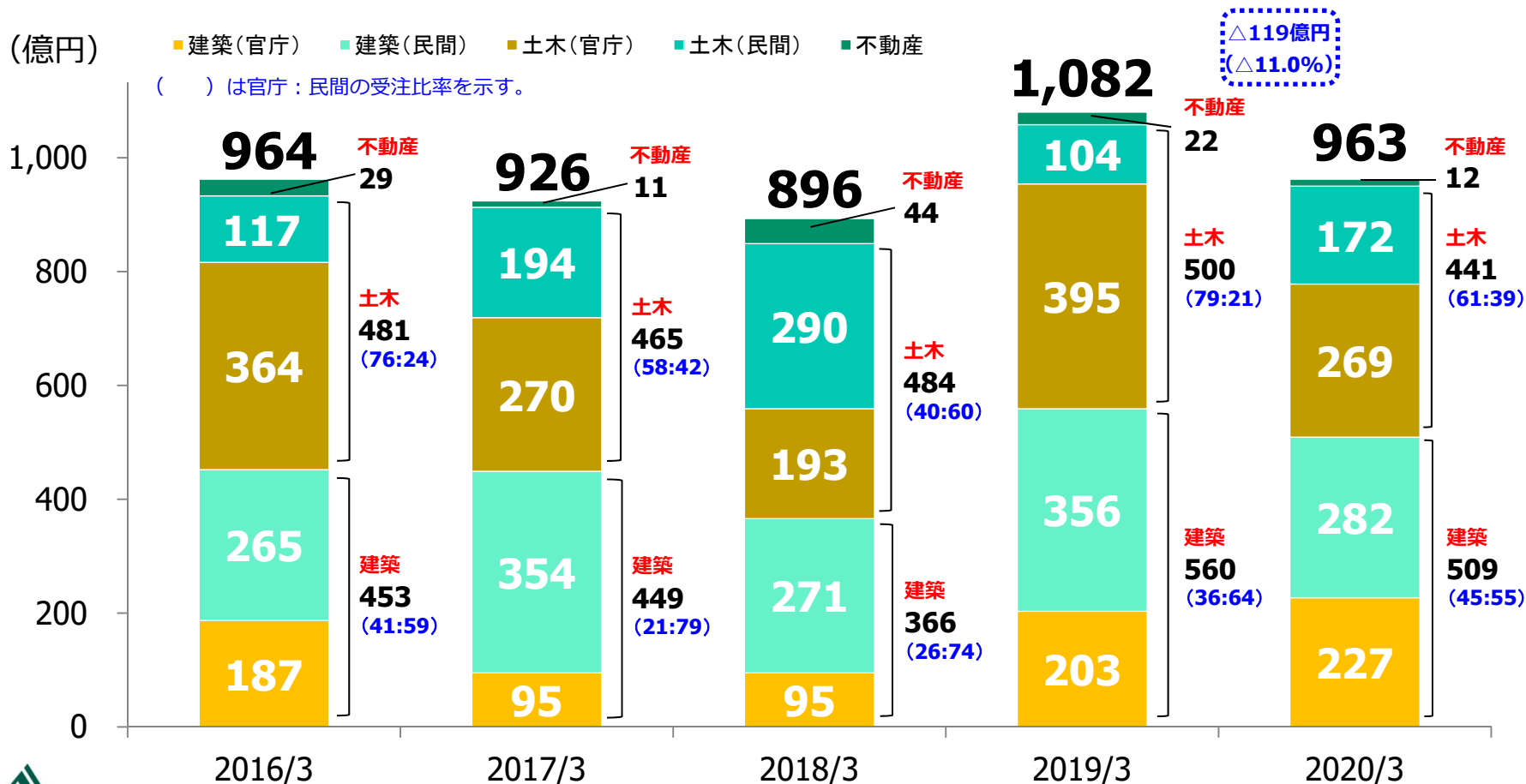
- 売上高は8期連続増収、営業利益は土木の好採算工事の進捗等により売上総利益が増加し前期比増益。経常利益は受取配当金の減少等により前期比減益。当期純利益は土地評価損の計上等により前期比減益。



受注高（個別）

（億円未満切捨）

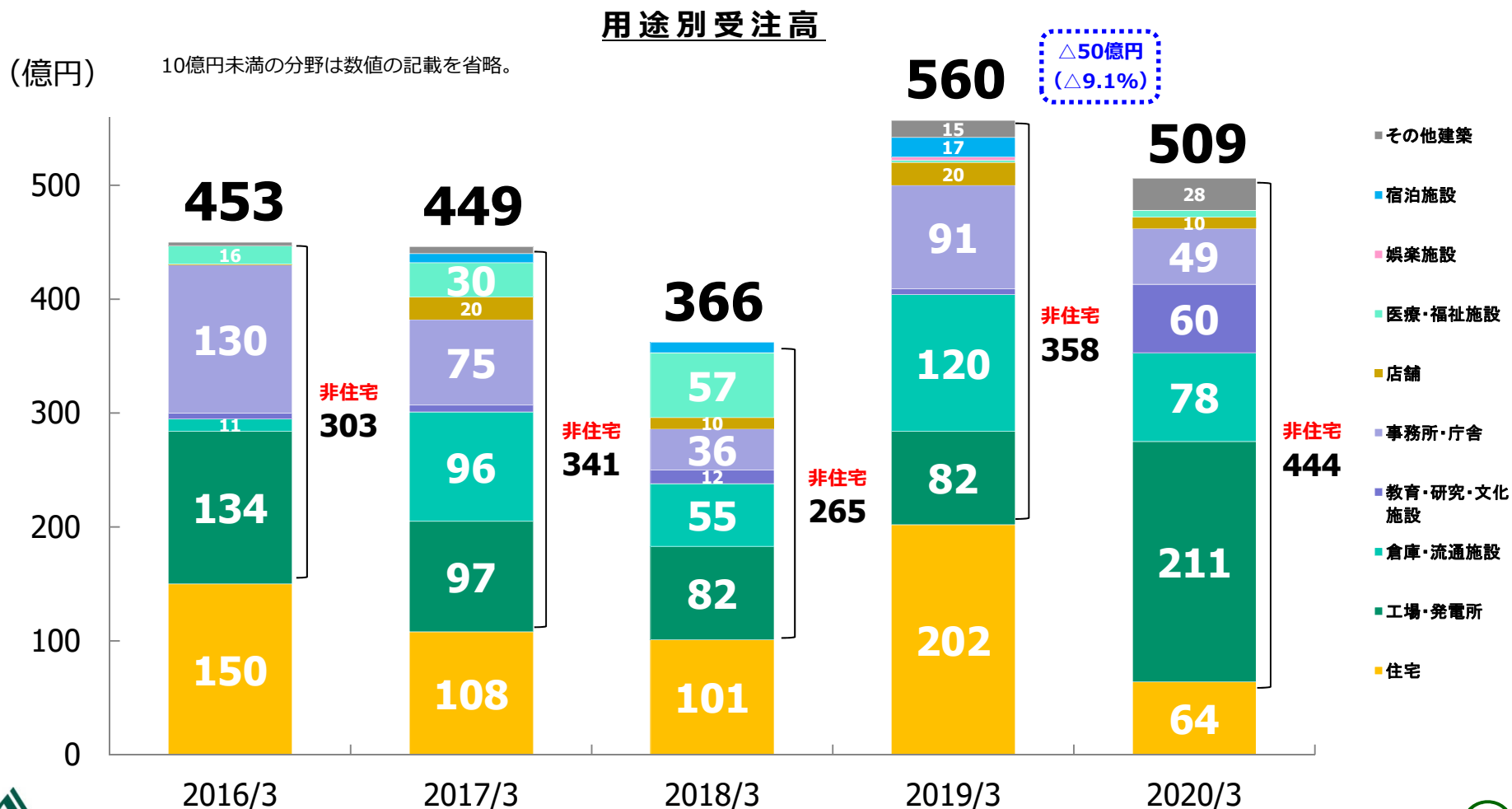
- 建築は官庁が大型ごみ処理施設等を受注し増加も、民間が前期に消費増税前の駆け込み需要があった反動で減少し、建築全体では前期比**50億円（△9.1%）の減少**。土木は民間がメガソーラーなどの再生可能エネルギー分野や大型ごみ処理施設の造成工事を受注し増加も、前期に鉄道・道路などの受注が好調であった官庁が減少し、土木全体では前期比**58億円（△11.7%）の減少**。全体では前期比**119億円（△11.0%）の減少**となった。



建築受注高（個別）

（億円未満切捨）

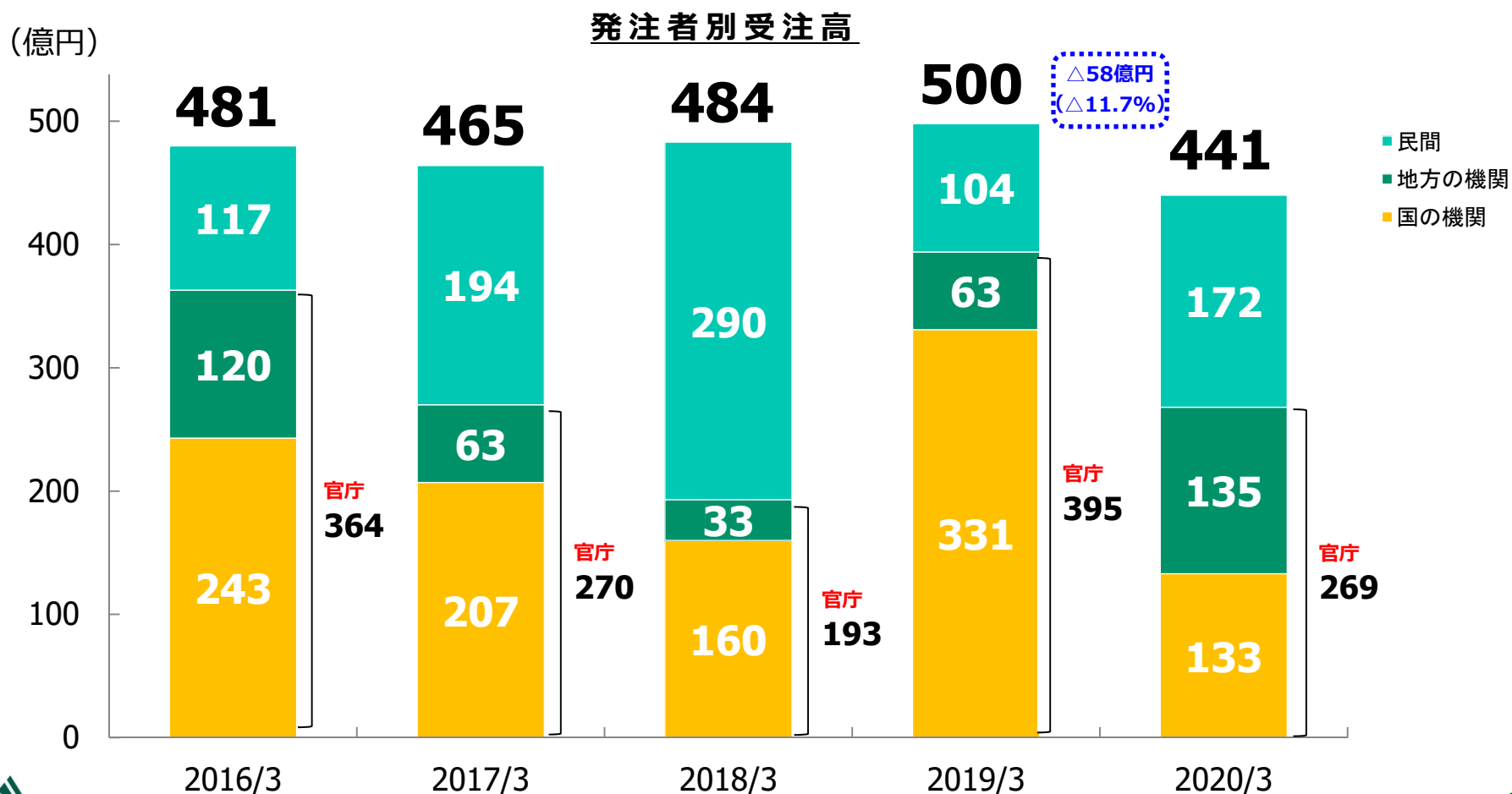
- 非住宅分野は工場、教育・文化施設を伸ばし増加。住宅分野は前期に消費増税前の駆け込み需要があった反動で減少し、建築全体では前期比50億円（△9.1%）の減少。



土木受注高（個別）

（億円未満切捨）

- 土木は民間がメガソーラーなどの再生可能エネルギー分野や大型ごみ処理施設の造成工事を受注し増加も、前期に鉄道・道路などの受注が好調であった官庁が減少し、土木全体では前期比58億円（△11.7%）の減少。

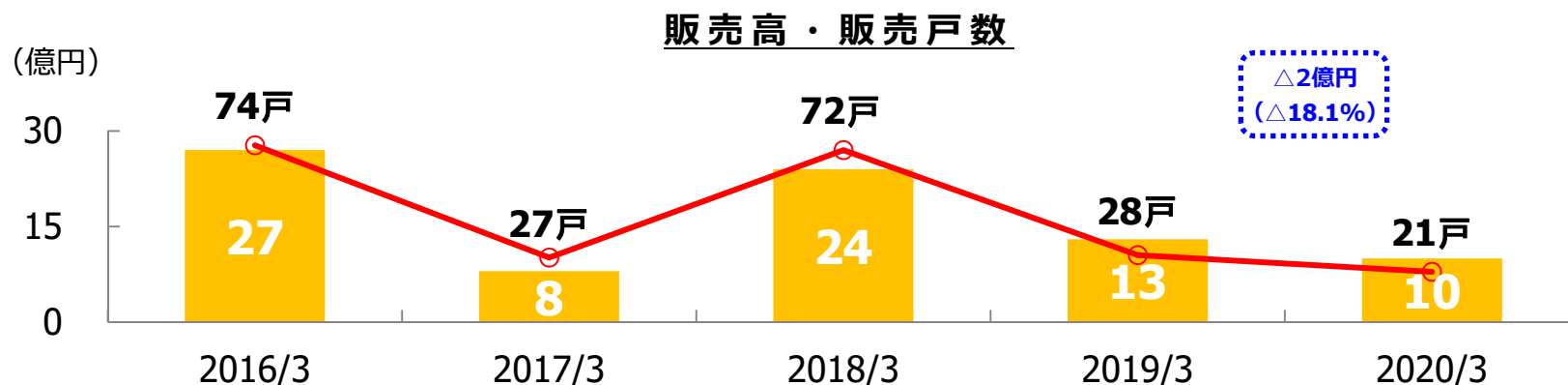
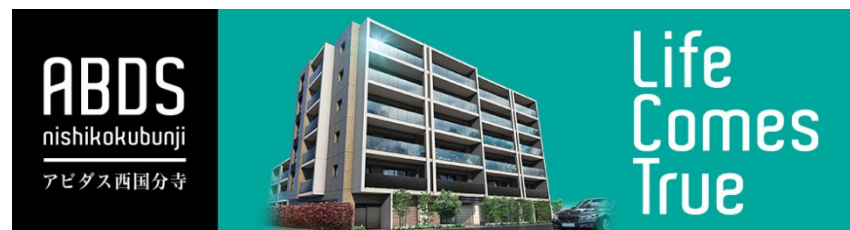


不動産販売高（個別）

（億円未満切捨）

- 2013年3月期より、土地取得、企画・設計、施工、販売、アフターサービスまで一貫してサポートする、自社分譲マンション「アビダス」(ABDS) 事業を開始。2018年からは「Tissage (ティサージュ)」ブランドにて販売。

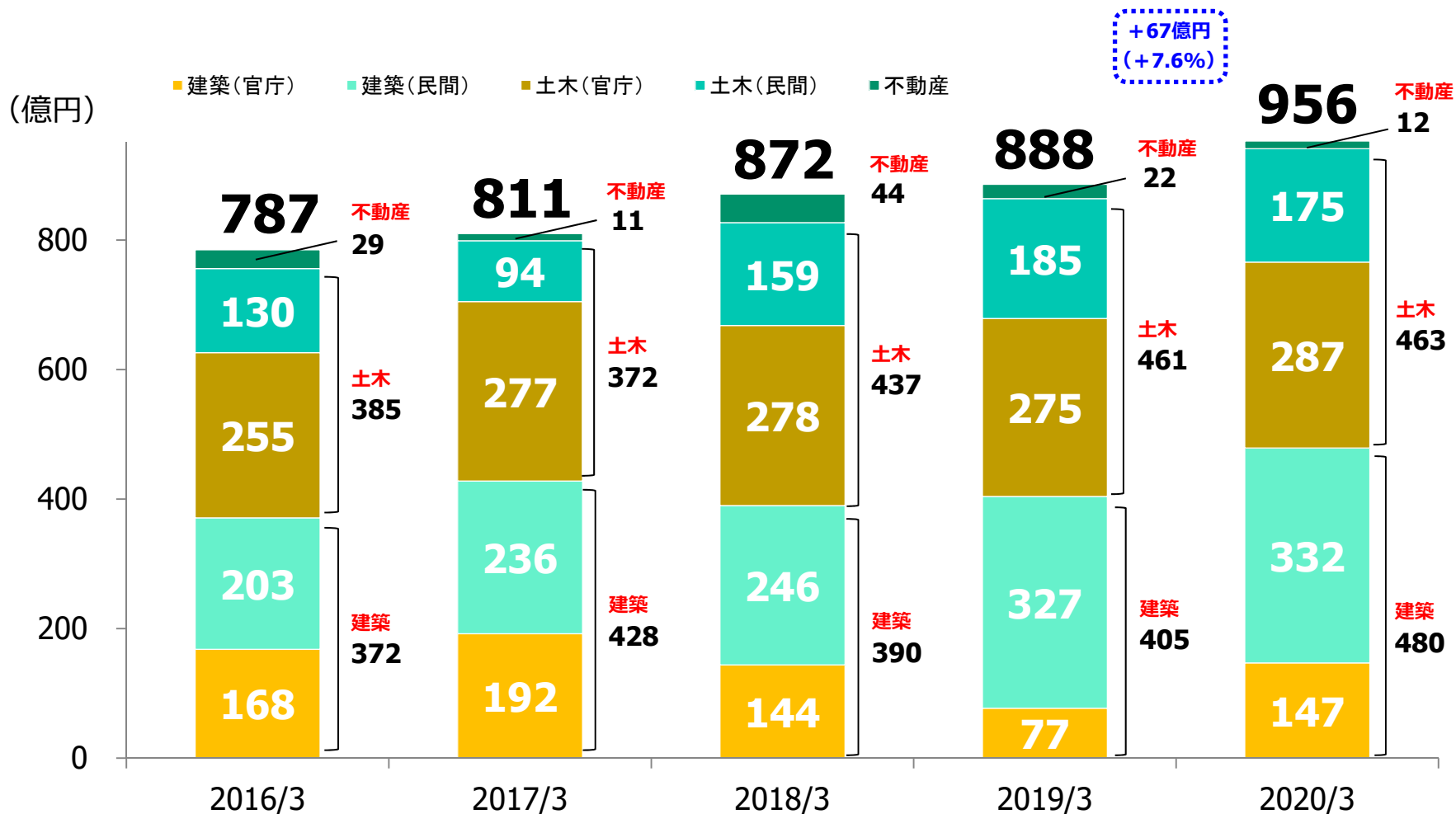
物件名	所在地	総戸数	販売状況
アビダス西国分寺	東京都国分寺市	27戸	完売
ティサージュ荻窪	東京都杉並区	37戸	完売



売上高（個別）

（億円未満切捨）

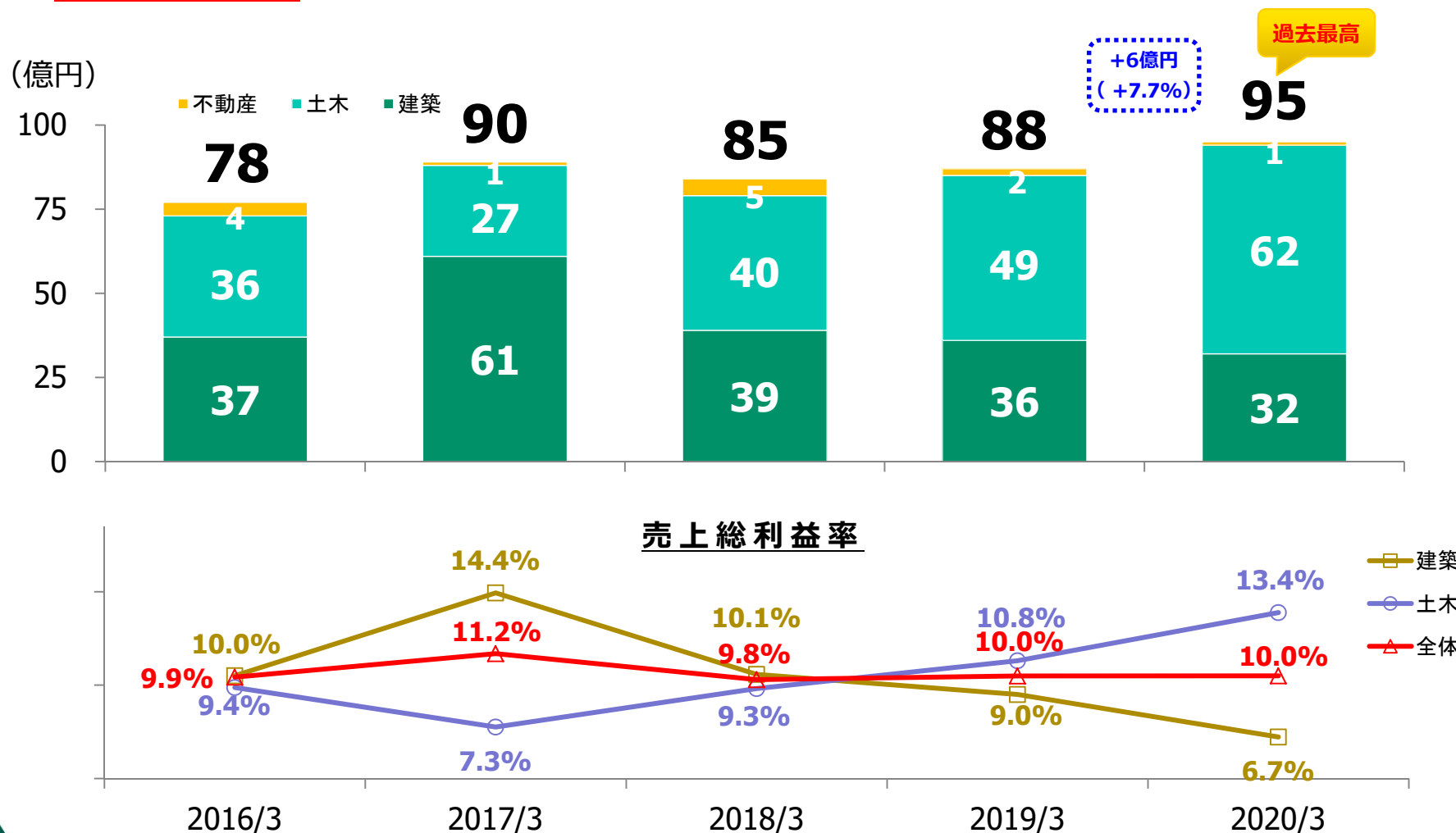
- 建築・土木ともに手持工事が順調に進捗したこと等により増収。全体では8期連続、前期比67億円（+7.6%）の増収。



売上総利益（個別）

（億円未満切捨）

- 建築は資材価格の上昇や労務不足等の影響を受けた低採算工事の進捗等により減益、土木は好採算工事の進捗等により増益、全体では前期比6億円（+7.7%）の増益となり、過去最高を更新。



2021年3月期年度経営計画 説明

環境認識および課題 (中期経営計画)

環境認識

プラス要因

- ・ インフラ建設投資は当面継続
- ・ 社会インフラの更新の増大
- ・ 国土強靱化対策の推進
- ・ リニューアル市場の拡大
- ・ AI、ロボット等の技術革新

- ・ 新設工事件数の減少
- ・ 担い手労働者の減少
- ・ 総世帯数の減少
- ・ 人口減少による経済の縮小
- ・ 五輪以降の経済不透明感

マイナス要因

課題

プラス要因

- ・ 防災、減災対策工事の独自技術を保有
- ・ 再生可能エネルギー関連工事の豊富な施工実績
- ・ 産学連携による共同研究
- ・ 優位性のある官庁工事の施工実績

- ・ i-Constructionの急激な進展が必須
- ・ 現場技術者の逼迫が継続
- ・ 生産性の向上が必要不可欠
- ・ 働き方改革への取り組みが不可欠

マイナス要因

基本方針・基本戦略 (中期経営計画)

基本方針

～柔軟な発想と強靱な足腰～
環境に即応し、持続的伸展を目指す

基本戦略

- リニューアル関連工事への取組の更なる充実
- 民間非住宅工事と民間土木工事の深耕、拡大
- アビダス事業に続く新規事業分野の開拓
- 新事業（契約）形態への進出（PFI・EPC等）



環境に即応し、持続的伸展を目指す



固有技術
の創生



事業領域
の創出

創



働き方
の創造



柔軟な発想と強靱な足腰

業績予想サマリー

(億円未満切捨)

- 受注高は新型コロナに伴う経済活動の停滞により、連結・個別とも受注時期の後ろ倒しおよび減少を見込む。
- 売上高および利益面は建築の施工量が端境期を迎えることに加え、受注時期の後ろ倒しによる施工量の減少により、連結・個別とも減収・減益を見込む。

	連 結					個 別				
	2020/3	2021/3				2020/3	2021/3			
	実績	中期計画	予想	前期比 増減率	中計比 増減率	実績	中期計画	予想	前期比 増減率	中計比 増減率
受注高	1,595 億円	1,650 億円	1,430 億円	△10.4 %	△13.3 %	963 億円	980 億円	810 億円	△15.9 %	△17.3 %
売上高	1,556 億円	1,590 億円	1,460 億円	△6.2 %	△8.2 %	956 億円	940 億円	830 億円	△13.2 %	△11.7 %
営業利益	74 億円	77 億円	63 億円	△14.9 %	△18.2 %	39 億円	42 億円	28 億円	△29.4 %	△33.3 %
営業利益率	4.8 %	4.8 %	4.3 %	△0.4 ポイント	△0.5 ポイント	4.1 %	4.5 %	3.4 %	△0.8 ポイント	△1.1 ポイント
経常利益	73 億円	77 億円	61 億円	△17.2 %	△20.8 %	51 億円	54 億円	38 億円	△26.1 %	△29.6 %
当期純利益	45 億円	50 億円	38 億円	△17.3 %	△24.0 %	34 億円	40 億円	28 億円	△19.8 %	△30.0 %

連結の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

セグメント別業績予想 (連結)

(百万円未満切捨)

(単位：百万円)

	2020/3 実績	2021/3	
		予想	前期比増減率
受注高	159,546	143,000	△10.4%
建築	53,404	37,000	△30.7%
土木	104,916	106,000	+1.0%
不動産	1,225	—	△100.0%
売上高	155,691	146,000	△6.2%
建築	50,478	38,500	△23.7%
土木	103,987	107,500	+3.4%
不動産	1,225	—	△100.0%
売上総利益	17,309	16,300	△5.8%
	(11.1%)	(11.2%)	(+0.0 _割)
建築	3,594	3,700	+2.9%
	(7.1%)	(9.6%)	(+2.5 _割)
土木	13,622	12,600	△7.5%
	(13.1%)	(11.7%)	(△1.4 _割)
不動産	92	—	△100.0%
	(7.6%)	(—%)	(△7.6 _割)



セグメント別業績予想（個別）

(百万円未満切捨)

(単位：百万円)

	2020/3 実績	2021/3	
		予想	前期比増減率
受注高	96,345	81,000	△15.9%
建築	50,928	34,500	△32.3%
土木	44,170	46,500	+5.3%
不動産	1,246	—	△100.0%
売上高	95,609	83,000	△13.2%
建築	48,052	36,000	△25.1%
土木	46,310	47,000	+1.5%
不動産	1,246	—	△100.0%
売上総利益	9,558	8,400	△12.1%
	(10.0%)	(10.1%)	(+0.1 _割)
建築	3,230	3,400	+5.2%
	(6.7%)	(9.4%)	(+2.7 _割)
土木	6,200	5,000	△19.4%
	(13.4%)	(10.6%)	(△2.8 _割)
不動産	126	—	△100.0%
	(10.2%)	(—%)	(△10.2 _割)



青木あすなる建設

ご注意：本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。